



第78回卒業証書授与式挙行

18日、多くの来賓、地域の皆様、在校生、保護者、教職員に見送られ、6年生11名が学び舎を巣立ちました。小学校は、「社会性を身に付ける入門期」だと言われています。この6年間で、学習もですが、人とのかかわり方、集団の中での振舞い方、公共の場でのマナーなど多くのことを身に付けたはずです。これらのことを中学校でもしっかりいかすことができる、新しい出会いがさらに充実していくものと思っています。

中学生になっても、本野地区で成長を続ける子どもたち。今後も地域の皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。

6年生は、一足早く春休みです。是非この期間を活用して、中学校進学に向けた心と体の準備、必要な物の準備を進めていただけたらと思います。体調を万全にして中学校生活のスタートダッシュに備えてください。



出逢いと別れ ～一期一会～

「その時の出逢いが その人の人生を 根底から変えることがある よき出逢いを」ご存知の方も多いかと思いますが、相田みつをさん（故人）の詩です。学生の頃、講義の中で教授がこの方の詩と書を紹介したことが知るきっかけでした。この方の詩や独特の書体は、親しみを感じるだけでなく、時にはストレートに心に突き刺さります。自身を省察するきっかけになったことを思い出します。

わたしも多くの出逢いを経験しました。その中には、進む道に明かりを灯してくれた方もいます。教職に就いてからは、11度異動し、本野小に赴任しました。その時々の「今」がまさに、「出逢うべくして出逢う」時だと感じてきました。

6年生の皆さんとはお別れをしましたが、その6年生は4月に新しい出逢いを迎えます。24日には、本野小を離れる先生方との離任式があります。しかし、4月には新しい先生方と出逢い、新入生と出逢うのです。

別れはやはり寂しいものです。しかし、出逢いがあってこそその別れ、その出逢いに感謝の気持ちをもって次の出逢いに向かいたいと思います。

